

提言第7号 一般・療養病棟における非侵襲的陽圧換気（NPPV）及び
気管切開下陽圧換気（TPPV）に係る死亡事例の分析

事例3

< 事例概要 >

- ・ 80 歳代の患者。5 年前に筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断。4 年前からNPPV 管理。わずかなうなずき可能。自発呼吸有。3 年前に在宅療養困難となり、長期療養目的で一般病棟に入院。
- ・ 病室付近を通った看護師が病室内のNPPV のアラーム音に気づき訪室。マスクと回路の接続部が外れ、心肺停止状態で発見。NPPVを再装着し自動体外式除細動器（AED）を装着するが反応なし。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。
- ・ 昼夜でマスクを交換するため、接続しやすいようにマスクと回路の接続部を工夫していた。
- ・ 生体情報モニタは人工呼吸器本体に表示されるパルスオキシメータを使用。